



『小中ともに助け合い 未来に繋げる藍川北学園PTA』

藍川北学園PTA 山田由香子 堀あかね 平岡美江 前川恵美 佐藤幸代 小林理恵 荒城真弓 岸智弘

1. はじめに

岐阜市の北東部に位置する藍川小学校は、令和4年度に創立50周年を迎えます。令和2年度より、隣接している藍川北中学校と岐阜市型小中一貫校として新しいスタートを切り、今年度より「藍川北学園」という名称になりました。

2. PTA組織の再編

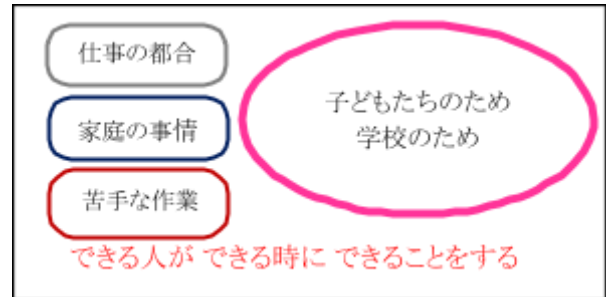
- ◆小中一貫校になったことによる組織の再編を行う。
- ◆数年前から行ってきた PTA 役員の負担軽減を進める。
- ◆コロナ禍で今まで行ってきた活動がストップしたからこそ見えてきた実情に合わないものの削減を図る。

② 役員の仕事からボランティア活動への移行

クラス役員を廃止し、必要な活動は、その都度ボランティアを募る形に変えました。保護者が参加しやすい活動を増やしていきたいです。

③ コロナ禍で行った運動会でのPTA 活動

<5月20日 藍川小学校運動会 >



3. 活動紹介

① 小中合同での委員会活動の取り組み

<広報委員会>

小中一貫校になることを見据え、いち早く合同で活動を始め、平成29年度から小中合同広報紙「わかあゆ」を発行しています。



<成人教育委員会>

藍川北学園は、「生命の尊厳への理解を深める」ことに重点を置き、外部から講師を招いて小中学生が一緒に土曜授業を受けています。家庭教育学級を同時に開催し、保護者も同じ内容を受けています。



岐阜市に出されたまん延防止により、急遽保護者の参観がなくなりました。参観がなくなって悲しい思いをしている子どもたちや保護者のためにできることはないかPTAと学校で相談をしました。

その結果、当日撮影をし、編集した動画を後日、学校で上映するという機会をもつことができました。

動画を上映することでたくさんの人に運動会の様子を伝えることができました。「見る事ができて嬉しかった」という感想をたくさんいただき、こうした活動をやってよかったと思えました。

4. 終わりに

小中一貫校になったことによる組織の再編・役員の負担軽減と、コロナ禍での活動制限が同時になりましたが、これを好機と捉えて様々な活動を前向きに行ってきました。

これからも学校、家庭、地域が一体となった「藍川大家族」で子どもたちのために活動を進めていきたいと思えます。